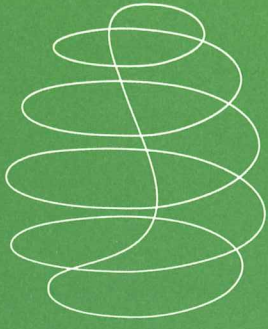


見て、ふれて、聞いて、五感で体験する
アート&サイエンスの展覧会



Eggs of Möbius 1997

メビウスの卵展

Eggs of Möbius 1997
Science in Art Exhibition

1997年
7月26日(土)→8月6日(水)

開館 午前10時→午後6時30分(入館は6時まで)
*最終日は5時閉館/入場無料 休館=7月31日(木)

主催=メビウスの卵展東京展実行委員会

(財)品川文化振興事業団O美術館

協力=「来るべき芸術」のためのワークショップ

共同研究=NEC NEGデザイン

(財)児童育成協会こどもの城・AV事業部

後援・機材協力=Apple Computer

株式会社ジャストシステム 筑摩書房

助成=芸術文化振興基金

財品川文化振興事業団

○美術館

東京都品川区大崎1-6-2
大崎ニューシティ2号館
Tel.03-3495-4040

【7年目のメビウスの卵展に向けて】

「見て、聞いて、触れて、操作できる」観客参加型の展覧会「メビウスの卵展(東京展)」も今年で7回目になります。今年も全国から多くの出品者が参加するほか、新たに出品者による「ミュージアムグッズ」の発表という実験的な展示も繰り広げられます。さらに、会期中には、路上観察からライトアートまで実験的なワークショップも多数行います。

7年目を迎えて、アーティストだけでなく、大学の研究室や企業のデザイナー、授産施設の利用者による共同制作など、さまざまな人々が、自分の持ち場から「観客参加型の展示」の可能性を探ることができる「大きな器」として機能するようになったメビウスの卵展に、今年もぜひご来場ください。

【特別企画・ミュージアムグッズの研究と提案】

店示物(てんじぶつ)

東京展の7周年特別企画として「ミュージアムグッズの研究と提案」を行います。内容としては、これまで本展が推進してきた「見て、聞いて、触れて、五感で楽しめる」作品という観客参加型の展示物の概念に基づいた、新しい「ミュージアムグッズ」の在り方を提案します。出品者は、本展の活動理念にしたがって、造形作家、デザイナー、科学研究者、福祉関係者など、「芸術・科学・福祉」の3つの現場から選んであります。それと同時に、現在の「ミュージアムグッズ」「ミュージアムショップ」の多くが画一化し、まったく創造性を失っていることに対する問題提起を作家側から行おうという主張も込めています。

●出「店」予定者(括弧内は個人作家の出品)

多面体フォーラム/社会福祉法人湘南福祉センター・工房絵/パズル懇話会・有志/トマソン・ボックス/関根音具店(関根秀樹)/ばんぶきん/工場まちの探検ボックス(下中菜穂、他)/AHA(カスパー・シュヴァーベfromスイス)/シェリール・スウィートルーム(謝琳)/カレイドショップ/こどもの城AV事業部/触覚工房(伊藤悦子)/MORIWAKIT販売店(森脇裕之)/日本障害者芸術文化協会/その他
監修:石黒敦彦(“来るべき芸術”のためのワークショップ代表)

*数に限りがありますが、出品物は希望者にお分けいたします。
**この企画の詳細については下記にお問い合わせください。

“来るべき芸術”のためのワークショップ

Tel./Fax.03-3479-4755

◎ワークショップ

午後3時→5時 定員20名

有料、当日開館時より会場受付にて整理券を配付いたします。

当日、制作したものは持ち帰ることができます。

●7月26日(土)あじわいを形にする

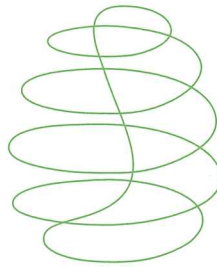
講師:加藤治男(プロダクトデザイナー)

材料費:300円

味覚を探索しながら、粘土で立体をつくります。粘土を使うので、作業しやすい服装でお越しください。

メビウスの卵展

Eggs of Möbius 1997



観客が自分で弾ける鉄の楽器彫刻「シデロイホス」

●8月2日(土) カオスモス・マシーンを作ろう

講師:富岡雅寛(造形作家)

材料費:未定

●8月3日(日) MORIWAKIT・ハンダ道場

講師:森脇裕之(ライト・アーティスト)

材料費:2000円

ハンダ付けで学ぶ、ハイテク基板のライト・アート。

●8月4日(月) 手作りアニメ・ワークショップ

講師:屋間行雄十こどもの城AV事業部

材料費:1000円(ミュージアムショップで販売している物を使う)

だれでもかんたんに作れる「手作りアニメーション装置」のワークショップ。

◎特別レクチャー&ワークショップ

●7月27日(日) 午後3時→5時

超芸術大学トマソン

学長:赤瀬川原平

講師:松田哲夫、太田孝幸(技術サポート)

協力:株式会社ジャストシステム

参加費:無料

定員50名

特別レクチャー&ワークショップ「超芸術大学トマソン」

開催のための、写真を募集いたします。あなたが路上で「発見」「目撃」したふしぎな物件の写真を、当日赤瀬川学長以下、講師陣が講評してください。O美術館の巨大ビデオスクリーンを使って、町中で目撃された「超芸術」の写真をみんなで鑑賞します。

応募締め切り:7月20日

応募方法:郵送

掲示作品には記念品を贈呈いたします。

問い合わせ先/郵送先:

〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-604

メビウスの卵展実行委員会

Tel./Fax.03-3479-4755

詳しい応募方法は上記・実行委員会にお問い合わせください。

*レクチャー、ワークショップを会場内で開催する都合上、その時間中は、一部の展示物をご覧になれない場合もございます。その旨をご了承ください。

*都合により、一部のワークショップの内容が変更されることもございます。お確かめの上、ご来館ください。

●出品者

赤瀬川原平十超芸大トマソン(路上観察のCD-ROM展示)

阿竹克人(動く多面体彫刻)

東昭博(ひだ多面体モデル)

稲野浩行・稲野まり(偏光オブジェ)

太田孝幸(3Dパソコン装置)

岡崎幸廣(数学の参加型展示物)

加藤治男(シャボン膜の彫刻)

川村みゆき(折り紙多面体)

郷津晴彦(流木アート)

小松宏之(鉱物の味覚展示物・予定)

斎藤典子(水彩描画)

立川真理子(光の参加型展示物)

土屋健一(虹色セルの視覚装置)

富岡雅寛(流体アート)

永原康史(3Dパソコン装置)

西原明(動く多面体)

西野隆史(動く多面体)

乗松剛治(触覚の展示物)

原 鉄(自動演奏音具)

原田和男(鉄の音響彫刻)

細馬宏通(3Dパソコン装置)

松井美流(万華鏡)

三澤純子(虹色セルの視覚装置)

森脇裕之(エレクトロニクス・アート)

本尾義行(多面体の展示物)

由木 礼(色彩発生装置)

吉江庄蔵(動く環状多面体)

MAAH(水の参加型展示物)

*

東京農工大学機械工学科・高木研究室

屋間行雄十こどもの城AV事業部

(福)湘南福祉センター工房絵(陶製の音具)

*都合により、一部の展示物に変更されることもございます。お確かめの上、ご来館ください。



○美術館

東京都品川区大崎1-6-2

大崎ニューシティ2号館2F Tel.03-3495-4040

【交通】

JR山手線大崎駅東口下車徒歩1分

東急バス(大井町→渋谷駅)大崎駅徒歩1分

【駐車場】

美術館専用駐車場はございません。

お車でご来場の場合、「大崎ニューシティ」地下2階の駐車場(有料)をご利用下さい。

▼内容についてのお問い合わせ先

メビウスの卵展東京実行委員会 Tel.03-3479-4755